

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Postoperative radiotherapy for cutaneous melanoma of the head and neck region</b>	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ14-8	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（III）	
	Pubmed ID	7960981	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Radiat Oncol Biol Phys	
	雑誌 ID		
	巻	30	
	号	4	
	ページ	795-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1994 年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Ang KK	MD アンダーソン癌センター
	その他著者 1	Peters LJ	同上
	その他著者 2	Weber RS	同上
	その他著者 3	Morrison WH	同上
	その他著者 4	Frankenthaler RA	同上
	その他著者 5	Garden AS	同上
	その他著者 6	Goepfert H	同上
	その他著者 7	Ha CS	同上
	その他著者 8	Byers RM	同上
	その他著者 9		
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	頭頸部原発悪性黒色腫に対し、一回線量 6 Gy を用いた放射線治療が安全かつ有効であるかを検討する	
	研究デザイン	非ランダム化比較試験（多数例の前後比較試験。第二相前向き試験）	
	セッティング	MD アンダーソン癌センター	
	対象者	174 例（1983 年～92 年） 平均年齢：54 才（16-89） Group 1：厚さ>1.5mm、Clark レベル>4、リンパ節腫大なし(79 例) Group 2：臨床的頸部リンパ節腫大(32 例) Group 3：既治療例で頸部リンパ節再発（遠隔転移はなし）(63 例)	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（3）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず（3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（14）	
	介入（要因曝露）	Group 1：6Gy x 5 回=30 Gy Group 2：6Gy x 4 回=24 Gy（術前）、or 6Gy x 5 回=30 Gy（術後） Group 3：6Gy x 4 回=24 Gy（術前）、or 6Gy x 5 回=30 Gy（術後）	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
		1	局所領域リンパ節制御率
	2	毒性	1.主要 2.副次 3.その他（2）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
主な結果	<p>全体の 5 年局所領域制御率：88%、生存率：47%</p> <p>術後照射した症例において局所領域制御に腫瘍の厚さ、リンパ節個数、被膜外進展は影響しない。</p> <p>Group 1 では腫瘍の厚みが増すと 5 年生存率に影響する(100% in &lt;1.5mm, 72% in 1.5-4mm, 30% in &gt;4mm)</p> <p>Group 2 と 3 では 4 個以上のリンパ節転移例では生存率が低い(23% vs. 39%)</p> <p>急性毒性は軽度で、遅発性毒性は 3 例のみ</p>		

	結論	一回 6 Gy の照射スケジュールは安全である。術後照射を行った場合には、局所制御率は過去の報告に比べ良好であり、1.5-4mm の腫瘍に関しては過去の報告と比べ生存も良好。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間直人
	レビューワーコメント	術後照射に関する数少ない前向き試験。過去のデータに比べ成績は良好。様々な角度から解析を加えており多重解析の可能性がやや気になる。 レベル III